

加賀市における公立病院改革プランの
実施状況の点検・評価

加賀市地域医療審議会

- 1 加賀市地域医療審議会の組織
- 2 加賀市地域医療審議会の目的
- 3 審議の経過
- 4 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価
- 5 参考意見

1 加賀市地域医療審議会の組織（平成 24 年 9 月 25 日現在）

会 長	松下 重人	（加賀市医師会長）
副会長	沼田 直子	（石川県南加賀保健福祉センター所長）
委 員	上田 良成	（加賀市医師会議長）
委 員	富田 勝郎	（金沢大学附属病院長） 当日欠席
委 員	関 雅博	（独立行政法人国立病院機構石川病院長）
委 員	嶋崎 正晃	（山中温泉医療センター管理者）
委 員	小林 武嗣	（加賀市民病院長）
委 員	林 俊昭	（加賀市議会議長）
委 員	上出 栄雄	（加賀市議会議員）
委 員	三輪 邦彦	（市民代表 [公募]）
委 員	丸谷 朱美	（市民代表 [公募]）
委 員	山下 秀男	（加賀市消防長）

2 加賀市地域医療審議会の目的

本審議会は、加賀市地域医療審議会条例第 1 条の規定に基づき、加賀市の地域医療の充実を図ることを目的とする。今回の審議会は、この目的に沿い加賀市病院事業改革プランの実施状況の点検・評価を行う。

3 審議の経過

● 会議

日時：平成 24 年 9 月 25 日（火）14 時 00 分～15 時 30 分

場所：加賀市民病院 講堂

■ 会議内容

- (1) 加賀市が開設する 2 病院の改革プランの実施状況について説明が行われ、意見が交わされた。

4 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価

数値目標について目標値に届いていないものもあるが、努力はうかがえる。医師、看護師を十分に確保し、すべての病床をフル稼働できる体制を目指し、病床利用率を向上させて入院収益を伸ばして行けるよう、一層の努力を続けていただきたい。特に看護師数が足りないと、看護基準の関係で使用できる病床数が制限され、施設を有効利用できず収益の向上には繋がらないため、看護学生を中心に人員確保に励んでいただきたい。今後は入院数を増やし外来数は減らしていく方向に行くことになろうと思われるが、患者さんと医療者ともに安心して、患者さんを医療機関間で紹介できる連携体制を構築させることが前提であり、しっかりと取り組んでいただきたい。その上でさらに良質のサービスを心掛け、市民とのより深い信頼関係を築いていってほしい。

5 参考意見

- (1) 加賀市が運営する公立病院について評価をしているが、いずれは同じ市内にある国立病院機構の石川病院も含めて、審議してはいかがか。
- (2) 経営の効率化のために委託化を推進するのはいいが、サービス面などで患者にとって問題が発生しないように徹底すべき。
- (3) 給与費比率が高くとも有益な人材に投資することは有意義であり、結果、支出した給与よりも多くの収入を生み出すことが可能である。
- (4) 来院される患者は交通弱者が多く、交通網の整備は必須である。統合新病院になっても同様であり、公共交通の充実やシャトルバスの導入など、行政も含めた対応が必要である。
- (5) これまでは医師不足ばかりが目立っていたが、今後は看護師不足も大きな問題となる。看護師は素晴らしい仕事であることを分かってもらい、人員確保、教育に力を注がなくてはならない。
- (6) 地域の医療機関や介護等の施設との連携を、さらに強化していかなくてはならない。
- (7) 市民には医療に参加しているとの意識を持っていただき、医療者のサポートおよび患者のサポートをすることで、医療者と市民とが共同で医療を作っていければ、今までにないような地域医療をつくり出す可能性がある。